



自立した学習者を育てるために  
～情報活用能力の育成～

校長 寺田 武文

1人1台のタブレット端末が学校に導入されたのは、コロナ禍真っ只中の令和3年の冬でした。当時の学校便りでは、「全校一斉に『GIGA 授業開き』を行い、「子どもたちは神妙な面持ちでタブレット端末を受け取り、慎重に名札シールを貼り、目を輝かせながら画面を開きました。」と伝えています。

「習うより慣れろ」を合言葉に始まったタブレット端末を使った授業は、環境が整うにつれて活用範囲が飛躍的に広がりました。今では、授業の中で、子どもたちがタブレットを使う姿は当たり前前の光景となり、もはや文房具と同じくらい授業に欠かせない学用品になりました。

ネットワークを利用して互いの考え方を交流する。発表に向けて調べたことをまとめる。「思考ツール」を使って、自分の考えを深める。録画や録音などの機能を使って記録をしたり、教科の特性に応じて様々なアプリを利用するなど活用方法は多岐にわたります。すでに「慣れる」段階はとうに過ぎ、職員はいかに効果的に活用し、子どもたちにどんな力をつけることができるのか模索をしている日々です。

子どもたちの学年や発達段階に応じて、活用できるアプリや機能は増えていきます。初めは、教師が使い方や注意点など丁寧に指導しますが、子どもたちはいつの間にか使い方を習得し自分のものにしていきます。自立した学習者を育てる意味では、時間の経過とともに、教師が「教える」部分を減らし、子どもたちに使い方を「委ねる」部分を増やしていくことが理想です。

これからの社会を生きていく上で、情報活用能力は欠くことのできない資質の一つです。自分が解決したい課題について、情報を「集める」「整理する」「分析する」などの力が求められています。今後も、自ら課題を見つけ、自ら学びを進めていける自立した学習者を育てるために、タブレットを日常的に、効果的に活用していきます。



考え方を交流する



調べたことをまとめる



思考ツールで深める

## 【大谷翔平選手寄贈のグローブが届きました】



新聞やテレビ等でご承知の通り、メジャーリーガーの大谷翔平選手から寄贈していただいたグローブが月潟小学校に届きました。子どもたちは大喜び。触る、はめる等、感触を楽しんでいました。今後は大いにグローブを活用して、ボール投げ運動に親しんでほしいと思います。

グローブの贈呈式では、代表の3人が、お礼の言葉や感想を發表しました

〈お礼の言葉 体育委員長 6年登石 奏さん〉

大谷選手、グローブありがとうございます。僕は、テレビで他の小学校にグローブが届いているのを見て、すごく楽しみにしていました。

このグローブを、全校のみんなで楽しく使っていきますよ。



## 【えほんのへやの皆様からの読み聞かせ】

2月9日に、今年度最後の読み聞かせをしていただきました。落ち着いた語り口で読み聞かせをしていただいている、えほんのへやの皆様にはとても感謝しています。子どもたちは、いつも聞き入っています。今後も同様の会を設定します。よろしくお祈いします。



### 「月小ブログ」

日々の学校の様子を紹介しています。療養解除届（インフルエンザ）などダウンロードすることが可能です。是非、お気に入り登録をよろしくお祈いします。

